

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2017年9月18日（月）9：00～12：00（3時間）

■会場

芦屋市立山手小学校 コミスク室

■参加者

18名（子ども6名、保護者2名、子ども会育成者2名、
防犯パトロール3名、青年リーダー5名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：00	あいさつ 芦屋市山手町子ども会 川崎俊子会長
9：05	オリエンテーション
9：10	お話し「阪神淡路大震災の時の芦屋市」
9：30	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレイキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：00	あいさつ 芦屋市山手町子ども会会長

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 大阪産業大学講師 和泉淑子
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 5名

■会場の様子



語り部



アイスブレイキング



まちあるき



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・自分の身を守れるように考える
- ・近所の人と災害に役に立つものがあるか一緒に探す
- ・避難場所を確認しておく
- ・水や食料をストックしておく
- ・災害のことについて家族で話し合う
- ・家の中で危ないものを見つけておく